

国富排水区ほか現況水路測量業務委託

特 記 仕 様 書

岡山市下水道局 下水道経営部 下水道河川計画課

1 特記仕様書の適用範囲

この特記仕様書は、一般仕様書の第1章 1.1 及び 1.2、第2章 2.4、第3章 3.1 に定める特記仕様書とし、この仕様書に記載されていない事項は一般仕様書によるものとする。

2 業務の内容

業務の内容は、下記のとおりとする。

(1) 調査区域

別紙位置図のとおり

(2) 測量

あり

(3) 作業項目・内容

作業項目			作業内容
1. 測量	水準測量	・4級水準点測量	L=11.2km (水路高さ(GLと底高)の測量)
	路線測量	・作業計画 ・現地踏査 ・横断測量	1 業務 L=11.20km 調査対象水路の位置と測定箇所の確認 L=11.20km 断面寸法の測定 (水路断面変化点、道路交点、地形変化点、低地盤地点、鉄道等の横断部の必要箇所の水路横断面の測量)
2. 打合せ			着手1回, 中間1回, 納入1回

3 各種図面のファイル化について

- (1) 各種図面（平面図、縦断面図、標準断面図、横断面図、構造図、用地図（公図含む）等）は電子ファイル化して提出のこと。（ラスターデータへの変換）
- (2) 紙図面をTIFFファイル化する場合は、スキャナーで300DPI以上の精度で読み取ること。
- (3) ファイル形式はTIFF（*.tif）とし、通常、色数はモノクロ2値（G4、G3、非圧縮）とすること。（通常は、非圧縮以外を選択すること）ただし、カラー資料の提出が必要な場合は、監督員と協議すること。
- (4) 記録媒体はCD-RまたはMO（光磁気ディスク）の使用を原則とするが、記録媒体の種類及び容量については監督員と協議すること。
- (5) 記録媒体のフォーマット形式については監督員と協議すること。
- (6) 提出する記録ファイルについて、納品前に以下の通りウイルスチェックを行うこと。（格納された全てのファイルについて実施）
 - 1) 市場性のある（シェアの高い）ソフトにより、かつ、最新のウイルスチェックデータに基づいて（チェック前に最新データを取り込んだ後）ウイルスチェックを行い、安全性を確実に確保すること。
 - 2) ウイルスチェックしたソフト名及びその日付、ウイルスチェック者の氏名を別途記載し提出すること。
- (7) 受注者がCADソフト等を利用する場合は以下によること。

- 1) 使用のCADソフト等によるファイルを記録媒体に保存（上記による）して提出のこと。
- 2) CADソフト等による図面は、別途TIFFファイル化（上記による）し、記録媒体に保存（上記による）して提出のこと。
- 3) 使用のCADソフト名及びそのバージョンを記載して提出のこと。
- 4) CADソフトはSXFレベル2に対応しているものを使用すること。（可能な範囲）

4 成果品の納入の形式

以下の要領等に沿って、可能な範囲で提出すること。このことについては、事前に監督員と協議すること。

「土木設計業務等の電子納品要領（案）」

「CAD製図基準（案）」

「デジタル写真管理情報基準（案）」

（参考）「電子納品運用ガイドライン（案）業務編」

「CAD製図基準に関する運用ガイドライン（案）」

なお、このことについては下記のホームページでも確認できます。

<http://www.cals-ed.go.jp/>

※提出CD-R作成通則

(1) フォルダの構成

種別毎にフォルダを作成し、各フォルダに保存する。

また、報告書1冊を報告書の編冊どおりDocuworks（またはPDF）でFile化し、保存すること。

(2) CD-R ディスクのラベル

提出するCD-Rのラベル面には、下記の情報を明記すること。（図1-1 参照）

なお、電子媒体には、必要項目を表面に直接印刷するものとする。シールによっては温湿度の変化で伸縮し、電子媒体に損傷を与えることがあるため、シールは使用しない。

- (1) 契約番号
- (2) 委託業務名
- (3) 業務完了日
- (4) 作成年月日
- (5) 発注者名称
- (6) 受託者名称
- (7) ウイルスチェックに関する情報
- (8) CD-Rフォーマット形式

プラスチックケースのラベルの背表紙には、下記のような情報を横書きで明記すること。

（図1-2 参照）

- (1) 委託業務名
- (2) 作成年月日

図 1-1 ラベル記載例



図 1-2 背面紙記載例

△△△△業務委託	作成年月日 : 令和〇〇年〇月〇日
----------	-------------------